

安全上のご注意

! 安全に関する表示

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。
注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。
禁止	してはならない「禁止」内容です。
必ず守る	必ず守っていただく「強制」内容です。
警告	
禁止	● 製品の改造・加工は絶対に行わない。 改造・加工した製品の強度や安全は保証できません。
	● 他社製品と組み合わせた製作物を作らない。 他社製品と組み合わせた製品の強度や安全は保証できません。
	● アクロスユニット、および、ハンドルの可動部分へ指を入れない。 挟まれてケガをする原因になります。
必ず守る	● 作業は必ず保護具(作業用手袋・保護メガネ)をして行う。 鋭利な部品の扱いや工具の取扱いなど、安全に注意してください。

注意	
禁止	● 電動工具(電動ドライバーなど)を使用しない。 部品ごとに繊細な力加減が必要なため、電動工具を使用すると変形・破損するおそれがあります。
	● 火のそばで作業しない。 部品が変質・軟化・変形、または、破損するおそれがあります。
	● 強酸薬品・有機溶剤などの影響を受ける現場で作業しない。 部品の変形・破損の原因になります。
	● 取付用ボルトなどを指定締め付けトルク以上で締め付けない。 部品が正常に機能しない場合や部品が破損・変形してしまうおそれがあります。
	● 交換用部品に不良が見られた場合は使用しない。 お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。
必ず守る	● 作業スペースは部品に傷が付かないように養生シートを敷く。 部品に傷が付くと、取付精度や回転具合などが悪くなるおそれがあります。
	● 重量物のため、メンテナンスを行う際の取り回しは十分注意する。 二人で作業を行うなどの配慮をしてください。
	● 作業は、安定した平らな場所で行う。 部品の紛失や傷を付けてしまうおそれがあります。
	● 作業は、部品交換前にアクロス全体の汚れを落とし、屋外または換気のいい場所で行う。 アクロス使用時に付着していた砂やほこりが舞うおそれがあります。
	● 部品は、直射日光が当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 変形・破損の原因になります。

●「ACROS」・「アクロス」は、矢崎化工株式会社の登録商標です。
●矢崎化工株式会社は、国際規格であるISOを認証取得しています。詳しくは弊社ホームページ(<http://www.yazaki.co.jp/>)をご覧ください。

矢崎化工株式会社

本社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1

北海道支店 仙台支店 関東支店 東京支店 神奈川支店 静岡支店
TEL 0126-63-4285 TEL 022-382-2145 TEL 0276-38-1511 TEL 04-2944-7111 TEL 0463-81-4315 TEL 054-286-1101
名古屋支店 大阪支店 広島支店 九州支店
TEL 0568-67-0111 TEL 072-672-8111 TEL 0829-36-1111 TEL 0948-72-0310

23022302

DX-017-00

yazaki

ACROS
アクロスメンテナンスパーツ

アクロスメンテナンスパーツ マニュアル

保管用

このマニュアルは、よく読みいただき大切に保管してください。

マウントブラケット

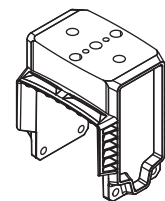
品名: アクロス マウントブラケット 4コセット
品番: AXP-MB2 PP BL 4コセット



ロットナンバー



・内容物をご確認ください。



部品名: マウントブラケット
材質: プラスチック
入数: 4個

部品名: M6 ボルト
材質: スチール
入数: 8本

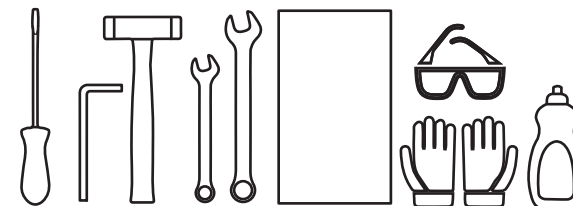
部品名: M6 ナット
材質: スチール
入数: 8個

部品名: M8 ボルト
材質: スチール
入数: 8本

部品名: インサートナット
材質: 真鍮
入数: 8個

・工具類をご用意ください。

- マイナスドライバー
- 六角レンチ (M6)
- 樹脂ハンマー
- スパナ (10mm・13mm)
- 養生シート (床キズ付防止用)
- 保護メガネ
- 作業用手袋
- 中性洗剤



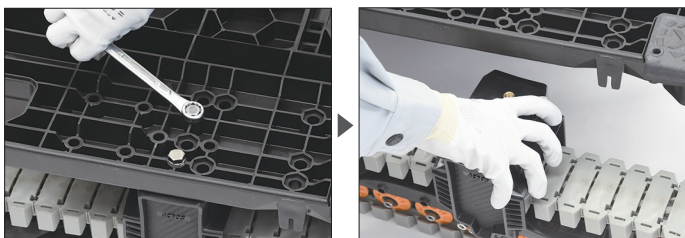
マウントブラケットの交換方法

1. マウントブラケットを取り外す

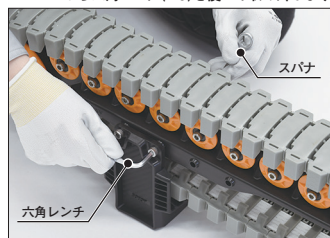
1 マイナスドライバーの先端を天板 蓋のツメに差し込み、ドライバーをねじってツメを外し、天板 蓋を取り外します。



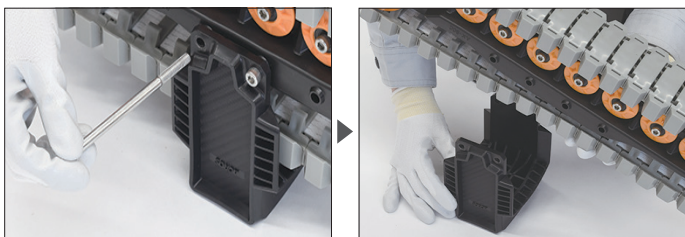
2 天板 体の上からボルト2本をスパナ(13mm)で外します。全てのボルトを外して、走行ユニットを取り外します。



3 マウントブラケットの側面のボルト2本を、スパナ(10mm)でナットの回り止めをしながら六角レンチ(M6)を使って取り外します。



4 ボルトを抜き、マウントブラケットを外します。



5 最後にゴムブッシュを取り外します。



⚠ 注意

● クローラベルトのみを持って持ち上げない。クローラが破損したり、それによりケガをするおそれがあります。

● 天板 蓋の取扱いは素手で行わない。天板 蓋の角やはめ合い部の出っ張りに引っ掛けて、ケガをするおそれがあります。

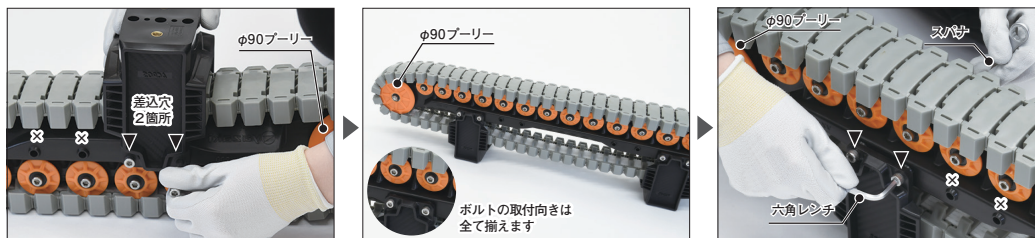


2. マウントブラケットを取り付ける

1 新しいマウントブラケットの裏側からインサートナット2個を打ち付けます。写真左のようにインサートナットをM8ボルトに浅く取り付け、取付穴に差し込み、ハンマーでボルトの頭を軽く叩きます。写真右のようにマウントブラケット表面の面一になるまで打ち込みます。



2 マウントブラケットをクローラの上に注意して上から差し込み、仮止めします。マウントブラケットを下にして立てて、側面からM6ボルト2本を差し、スパナ(10mm)でナットの回り止めをしながら六角レンチ(M6)を使ってボルトを締めます。締付けトルク: 3N・m[30kgf・cm]

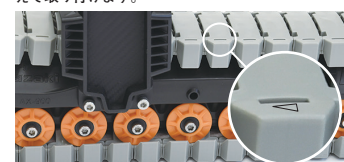


4 マウントブラケットと天板 体の穴位置を合わせ、M8ボルト2本をスパナ(13mm)で締めます。締付けトルク: 5N・m[50kgf・cm]



④クローラとボルトの取付向きを揃える

ベルト表面の矢印刻印が台車の進行方向に向くように、また、ボルトの頭が台車の外側に向くように揃えて取り付けます。



5 天板 蓋をかぶせてツメをはめます。全てのツメがしっかりとりはまったことを確認します。



6 最後に天板 蓋の上からゴムブッシュをはめます。左右(L&R)を確認し、ゴムブッシュの突起部と天板の差込穴を合わせ、真上から強く押さえ、穴にはめ込みます。



⑥はまりにくい場合の対処方法

ゴムブッシュの裏側の突起部に中性洗剤を少量塗布してから、ゴムブッシュをはめます。

